

電力技術研究会専門部会シリーズ 新技術専門部会

今号から電力技術研究会を構成する9つの専門部会の活動を順次紹介いたします。

第1回は、21世紀特集に併せて将来に向けた技術開発を模索する新技術専門部会です。新技術専門部会は、研究会の6番目の部会として昭和50年8月エネルギー専門部会として発足し、昭和61年5月電源専門部会と新技術専門部会に分離し現在に至っております。メンバーは、電力技術研究所の木村主査のもと、大学関係委員4名、企業関係委員1名に当社関係者7名を加えた13名です。

その活動内容は、電気事業の将来を予測し、コストダウン、電気の安定供給、地域環境対策等の可能性を

秘めた、先端的・革新的技術を積極的に取り上げた意見交換と情報交換です。

去る11月22日(水)に技術開発本部で開催された第39回専門部会では、大学および企業関係委員より、「最近の太陽光発電と住宅およびソーラー飛行船への利用」、「高強度高減衰能材料の開発」、「高温超電導線材の交流通電損失」、「最近の粉体関連機器の開発状況について」の4件が、また当社委員より「HIPによるガスタービン動翼材の特性向上について」がそれぞれ紹介され、活発な意見交換が行われました。

最近の研究概要

新エネルギー技術	太陽電池 世界の太陽光発電の開発・実施状況 最近の太陽電池と太陽光発電住宅の実際
	燃料電池 MCFC発電プラントの運転評価と今後の展開について
新素材技術	ピスマス系超電導テープ線の結晶粒内を流れる臨界電流密度
	酸化物分散強化フェライト系メカニカルアロイの強度に及ぼす酸化物種及び母相微細組織の影響
材料寿命評価技術	走査型ホール素子顕微鏡の開発と非破壊検査への応用
電力貯蔵技術	リチウム二次電池用新規負極
地球環境対策技術	混合導電体を用いた高温での二酸化炭素の還元
	復水器細管洗浄ボールの生分解性プラスチック適用調査研究



社外委員の紹介・前列左より：菰田(愛知電機) 宮原(名古屋大学) 梅野(名古屋工業大学) 太田(豊橋技術科学大学)の各専門委員